

みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に向けた 令和3年度事業の実施状況及び令和4年度の主な取組（概要版）

農林水産委員会 配布資料
令和4年8月19日
農政部

資料 1

第3期基本計画の概要

【計画期間】 令和3年度から令和12年度

【キャッチフレーズ】

共創力強化～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～

人口減少や高齢化が進む中で、食と農業・農村への消費者の理解と協働のもとに、農業者だけではなく、次世代の若者も含め、食と農に関わる全ての人材が結びつき、活躍することにより、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていく力を強化します。

【主要目標】

1 農業産出額の目標

●農業産出額

1,939億円(H30)⇒**2,288億円**(R12)

園芸産出額倍増を目指します！

333億円(H30)⇒670億円(R12)

園芸産出額620億円

+1次加工による付加価値50億円

2 農業の担い手・農地の目標

●認定農業者数の目標

6,279経営体(R1)⇒**6,300経営体**(R12)

(参考)〔販売農家数〕

37,533戸(H27)⇒20,500戸(R12)

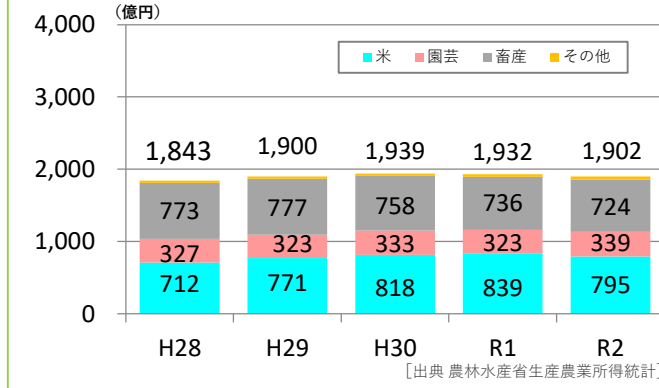
●農地面積の目標

126,300ha(R1)⇒**122,175ha**(R12)

令和3年度の取組による成果の総括

【主要目標】

1 農業産出額



2 認定農業者数

6,026経営体 (R3)

【出典 宮城県農業振興課調べ】

3 農地面積

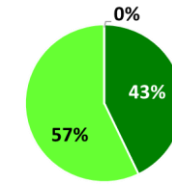
125,500ha (R3)

【出典 農林水産省作物統計調査】

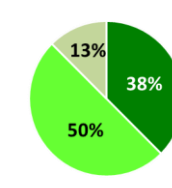
【推進指標（43指標）の単年度目標達成状況】

1 基本項目ごとの単年度目標に対する達成状況

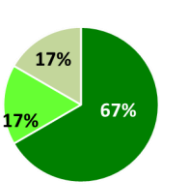
基本項目Ⅰ（7指標）
時代のニーズに対応した
県産食品の安定供給



基本項目Ⅱ（24指標）
次代の人材育成と革新技術の
活用による戦略的な農業の展開

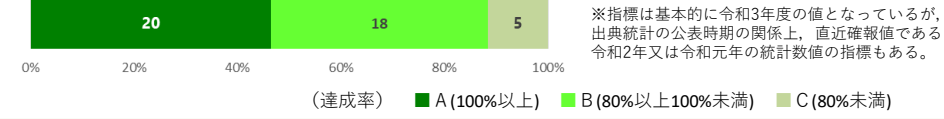


基本項目Ⅲ（12指標）
ひと・もの・ちえを総動員した
持続可能な農村の構築


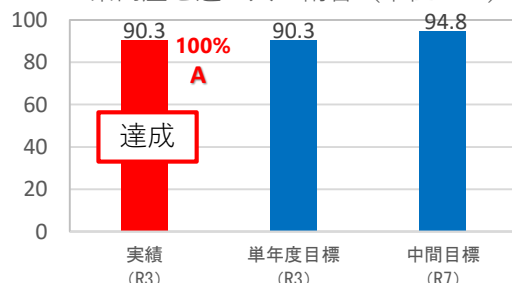
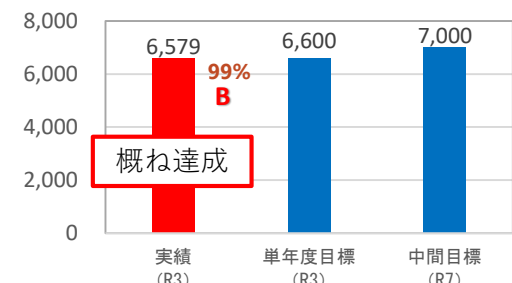
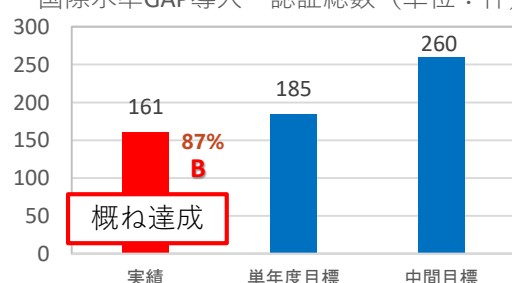


2 全体の達成状況

推進指標43項目のうち、38項目で達成率80%以上（A又はB）となった。



基本項目Ⅰ 時代のニーズに対応した県産食品の安定供給（豊かな食）

施策	令和3年度の主な施策の実施状況	主な推進指標の単年度目標の達成状況	令和4年度の主な取組
<p>施策1 県民による豊かなみやぎの食と農への理解と地産地消の促進</p>	<p>○みやぎの食に対する理解度向上や消費・活用促進のため、食材王国みやぎ「伝え人」を学校等へ派遣するとともに、高校生地産地消お弁当コンテストを開催し、地産地消の意識向上と県産食材の理解促進に繋がった。</p>  <p>高校生地産地消お弁当コンテスト</p>	<p>推進指標1 農産物を購入する時、県内産を選ぶ人の割合（単位：％）</p> 	<p>○地産地消の啓発や地産地消推進店の拡大を全県的に推進する。 【食育・地産地消推進事業】</p>
<p>施策2 生活様式の変化に対応する県産食品の販売力強化</p>	<p>○付加価値の高い商品づくりを支援するため、みやぎの食材バリューチェーン構築プロジェクトとして各事業者を支援した結果、うち4者は未利用資源を活用するなど環境に配慮した商品開発に繋がった。</p> <p>○需要に応じた園芸作物のサプライチェーンの構築を図るため、生産者・流通業者・実需者が連携し園芸作物を供給する取組を支援した結果、新たなサプライチェーンが4件構築された。</p> <p>○県産品の魅力と県産品販売事業者のオンラインショップを紹介するアンテナサイト「宮城旬鮮探訪」を新設するとともに、楽天市場内に県産品特集ページ「宮城県W E B物産展」を開設し、新たな販売に繋がった。</p>	<p>推進指標5 食品製造業の製造品出荷額（単位：億円）</p> 	<p>○県産食材のブランド価値向上に取り組む生産者等への支援、県産食材の実需者とのマッチングや食材王国みやぎフェアの開催などの支援により、県産食材の付加価値と認知度の向上を図る。 【食材王国みやぎの「食」ブランド化推進プログラム事業】</p>
<p>施策3 県民への安全・安心な食料の安定供給</p>	<p>○農畜産物のGLOBALG.A.P.等の導入推進や人材育成のため、指導員研修を開催した結果、農産物ではGLOBALG.A.P.の導入・取組事例が増加した。</p> <p>○養豚場での豚熱発生予防のため、県内全域でのワクチン接種や接種手数料の見直し、民間獣医師が豚熱ワクチン接種を行うことができる知事認定獣医師制度を導入した。</p>	<p>推進指標7 国際水準GAP導入・認証総数（単位：件）</p> 	<p>○研修会の開催などにより国際水準GAPの導入推進や人材育成を図るとともに農業教育機関の認証取得を支援し、後継者世代の理解浸透を図る。 【GAP認証取得推進事業】</p>

基本項目Ⅱ 次代の人材育成と革新技術の活用による戦略的な農業の展開（儲ける農業）

施策	令和3年度の主な施策の実施状況	主な推進指標の達成状況等	令和4年度の主な取組								
<p>施策4 みやぎの農業を支える多様な人材の確保・育成</p>	<p>○アグリビジネス経営体の育成・確保に向け、専門家派遣や講座を実施した結果、アグリビジネス経営体数は124経営体（前年度対比103%）となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値創出事業支援：1経営体 ・大規模園芸経営体施設整備支援：1経営体 	<p>推進指標10 アグリビジネス経営体数（単位：経営体）</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>実績 (R3)</th><th>単年度目標 (R3)</th><th>中間目標 (R7)</th></tr> <tr><td>アグリビジネス経営体数</td><td>124 (92% B)</td><td>135</td><td>155</td></tr> </table>	指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)	アグリビジネス経営体数	124 (92% B)	135	155	<p>○女性の新規就農者確保に向け、地域の先導的な女性農業者のもとで農業体験を実施する。</p> <p>【「キラリ!農スタイル」魅力発信事業】</p>
指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)								
アグリビジネス経営体数	124 (92% B)	135	155								
<p>施策5 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化</p>	<p>○アグリテック有効活用や導入に向けて、専門家等の派遣やセミナー等を開催し、普及拡大を図るとともに、アグリテックを導入する経営体に対して、補助事業による支援を行った。</p>	<p>推進指標15 土地利用型農業法人（80ha以上）のアグリテック導入者数（単位：経営体）</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>実績 (R3)</th><th>単年度目標 (R3)</th><th>中間目標 (R7)</th></tr> <tr><td>アグリテック導入者数</td><td>28 (80% B)</td><td>35</td><td>68</td></tr> </table>	指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)	アグリテック導入者数	28 (80% B)	35	68	<p>○スマート農業技術の実証事業により、実証されたスマート農業技術等を含めたアグリテックの普及拡大を図るとともに、支援体制を強化し、生産性向上支援を行う。</p> <p>【アグリテック活用推進事業】</p>
指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)								
アグリテック導入者数	28 (80% B)	35	68								
<p>施策6 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化</p>	<p>○ほ場整備を契機として意欲ある担い手への農地集積・集約化を図り、生産効率を高め、高収益作物の導入・拡大等を図る農地の大区画化・汎用化を推進するため、基盤整備を県内43地区で行った。</p>	<p>推進指標19 野菜等の高収益作物を導入する新規地区数（単位：基準年からの累積地区数）</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>実績 (R3)</th><th>単年度目標 (R3)</th><th>中間目標 (R7)</th></tr> <tr><td>新規地区数</td><td>13 (87% B)</td><td>15</td><td>30</td></tr> </table>	指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)	新規地区数	13 (87% B)	15	30	<p>○農地中間管理機構が実施する農用地を借り入れ、担い手農家等へ貸し付ける事業に対して助成することにより、担い手への農地の集積・集約化を推進する。</p> <p>【農地中間管理事業】</p>
指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)								
新規地区数	13 (87% B)	15	30								
<p>施策7 先進的大規模拠点を核とした園芸産地の確立</p>	<p>○農業法人の施設・機械等の整備を支援し、高度環境制御可能な施設が増加したほか、ネギの機械化一貫体系機械を導入するなど、生産性向上の基盤を整備した。</p> <p>○環境制御等に関する研修会やセミナーを行った結果、参加した生産者や普及員の環境制御技術等が向上した。</p>	<p>推進指標23 先進的園芸経営体数（単位：経営体）</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>実績 (R3)</th><th>単年度目標 (R3)</th><th>中間目標 (R7)</th></tr> <tr><td>先進的園芸経営体数</td><td>95 (89% B)</td><td>107</td><td>140</td></tr> </table>	指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)	先進的園芸経営体数	95 (89% B)	107	140	<p>○いちご100億円産地の育成を目指し、単収向上を図り、新規参入等による面積拡大や輸出拡大に向けて体制構築を進める。</p> <p>【いちご100億円産地育成推進事業】</p>
指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)								
先進的園芸経営体数	95 (89% B)	107	140								
<p>施策8 水田フル活用による需要に応じた作物生産の振興</p>	<p>○金のいぶきの作付拡大を図るため、普及展示ほの設置や研修会を開催したほか、生産資材や機械の購入支援等を行い、令和4年産の作付面積は、前年の215haから425ha（見込み）に増加した。</p>	<p>推進指標27 水田活用による園芸作物の作付面積（単位：ha）</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>実績 (R3)</th><th>単年度目標 (R3)</th><th>中間目標 (R7)</th></tr> <tr><td>作付面積</td><td>3,382 (92% B)</td><td>3,678</td><td>4,247</td></tr> </table>	指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)	作付面積	3,382 (92% B)	3,678	4,247	<p>○主食用米から園芸作物への作付転換を拡大するため、畑地転換に係る経費の一部を補助する。</p> <p>【作付転換営農継続支援事業（畑地転換支援）】</p>
指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)								
作付面積	3,382 (92% B)	3,678	4,247								
<p>施策9 生産基盤の拡大による畜産の競争力強化</p>	<p>○種雄牛候補牛等の遺伝子を解析し、種雄牛造成に活用するとともに、アミノ酸組成等分析を行い、霜降り以外の「おいしさ」に関する改良に取り組んだ。</p>	<p>推進指標31 県有種雄牛産子の子牛市場上場頭数割合（単位：%）</p> <table border="1"> <tr><th>指標</th><th>実績 (R3)</th><th>単年度目標 (R3)</th><th>中間目標 (R7)</th></tr> <tr><td>上場頭数割合</td><td>49.5 (95% B)</td><td>52.0</td><td>55</td></tr> </table>	指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)	上場頭数割合	49.5 (95% B)	52.0	55	<p>○持続的な地産地消を推進するため、中小規模の採卵養鶏・養豚経営体が取り組む労働生産性向上や食品産業との連携強化を支援する。</p> <p>【多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業】</p>
指標	実績 (R3)	単年度目標 (R3)	中間目標 (R7)								
上場頭数割合	49.5 (95% B)	52.0	55								

基本項目Ⅲ ひと・もの・ちえを総動員した持続可能な農村の構築（活力ある農村）

施策	令和3年度の主な施策の実施状況	主な推進指標の達成状況等	令和4年度の主な取組
<p>施策10 関係人口と 共に創る 活力ある農村</p>	<p>○農山漁村交流拡大プラットフォームを活用し、都市農村交流企業マッチングや企業研修を3地域で実施した結果、農山漁村地域の関係人口創出に繋がった。</p> <p>○農山漁村におけるIoT等ネットワーク等を活用して「誰でもできる農業」、「住みたくなる(住みやすい)農山漁村」を実現するため、2つのモデル地区を設置し、デジタルトランスフォーメーション戦略計画を作成し、地域の実情にあったデジタル技術を活用した農山漁村デザインの策定の取組を支援した。</p>	<p>推進指標32 農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数（単位：団体）</p> <p>推進指標35 地域の課題解決等に取り組む活動組織の形成数（単位：組織）</p>	<p>○農山漁村交流拡大プラットフォームを活用した事業者マッチングにより関係人口の拡大を図るとともに、地域活動の企画・運営支援や人材育成研修等により集落の体制整備やリーダーの育成を図る。 【令和のむらづくり推進事業】</p>
<p>施策11 地域資源を 活用した多様な なりわいの創出</p>	<p>○地域資源ビジネスの創出に取り組む地域運営組織を対象として、先進的な取組を実践する団体を講師に招いた研修会の開催や地域のアクションプランの策定等を支援した結果、地域資源ビジネスの創出に向けた体制構築が図られた。</p> <p>○県内2地域（蔵王国定公園エリア・栗駒国定公園エリア）を対象に、地域資源を活用したペアリング商品の開発を行い、取組等を紹介する産地見学バスツアーや、モニター販売を実施し、地域の活性化を図った。</p>	<p>推進指標33 地域資源ペアリング商品（左：里山マリアー重 右：ちいき箱）</p> <p>推進指標38 野生鳥獣による農作物被害額（単位：千円）</p>	<p>○地域資源を活用したビジネスの創出に向けた伴走型支援を行うとともに、地域食材と多様な地域資源によるペアリング商品・サービスの開発やペアリング商品をツールとした誘客のためのモデルツアー等を実施する。 【令和のむらづくり推進事業】</p>
<p>施策12 環境と調和した 持続可能な農業・ 農村づくり</p>	<p>○鳥獣被害防止総合対策交付金を30の市町村・協議会へ交付し、野生鳥獣の捕獲活動や侵入防止柵の設置等を行い、被害防止に向けた対策を講じた。</p>	<p>推進指標41 田んぼダムを導入した面積（単位：ha）</p>	<p>○環境と成長が循環する持続可能性のある農業の確立を図るため、有機JAS認証取得に向けた支援や環境に配慮した農業生産に対する理解促進のための取組を行う。 【みやぎの有機農業等推進事業】</p>
<p>施策13 農業・農村の強靱 化による地域防災 力の強化</p>	<p>○田んぼダムの普及に向け、大崎管内の市町・土地改良区・農業者が参画した「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」を設立し、取組拡大に向けた検討を進めた。また、大崎市「千刈江地区」をモデル地区に設定し、田んぼダムの効果検証に取り組んだ。</p> <p>○令和元年東日本台風により被災した丸森町等の農地や農業用施設の復旧事業を実施し、約8割で営農再開した。</p>	<p>推進指標34 鳥獣被害防止対策（侵入防止柵設置）</p> <p>推進指標36 田んぼダムモデル地区 大崎市「千刈江地区」</p> <p>※被害額の減少を目標としており、目標額を下回れば「達成」となる。達成率は、前年度からの目標及び実績の減少額の比で算定している。</p>	<p>○早急に対策が必要な防災重点農業用ため池について、地震・豪雨に対する耐性評価を進め、必要な対策工事を実施するほか、ため池保全に係る監視・管理体制の強化を実施する。 【防災重点ため池管理対策支援強化事業】</p>

第3期基本計画で目指す姿のイメージ

食と農業・農村への消費者の理解と協働のもとに、農業者だけではなく、食と農に関わる全ての人材が結びつき、活躍することにより、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていく力を強化します。

